

103-296

問題文

この患者の病態と処方薬に関する記述のうち、誤っているのはどれか。2つ選べ。

1. この患者は皮膚真菌症に罹患している。
2. 症状と発症部位から足カンジダ症の可能性が高い。
3. 深在性真菌症にも有効である。
4. 患部のびらん症状がひどくなった場合には、内服療法へ切り替える。
5. 病変部位を採取し直接鏡検を行い、治癒を確認する。

解答

問296 : 2, 5問297 : 2, 3

解説

問296

選択肢 1 ですが

症状の改善後も再発予防のために、医師から中止指示があるまで使用を継続することが肝要です。徐々に塗布回数を減らすのは適切ではありません。

選択肢 2 は、正しい記述です。

症状がある部分だけではなく周囲まで菌は生息しています。広めの塗布を指示します。

選択肢 3 ですが

保湿の有無は、乾燥の程度等を総合的にふまえて医師が判断します。本問の与えられた情報では判断できず、保湿の推奨が適切とはいえません。

選択肢 4 ですが

日光にあたっても問題ありません。日光にあたらないでと指示するのは適切ではありません。

選択肢 5 は、正しい記述です。

副作用の初期症状と考えられるため中止が適切です。

以上より、問296 の正解は 2,5 です。

問297

選択肢 1 は、正しい記述です。

皮膚症状があり、かつ、ラノコナゾールはアゾール系の中でもイミダゾール系抗真菌薬です。

選択肢 2 ですが

症状及び発症部位から考えると、いわゆる水虫の可能性が高いと思われます。足カンジダ症を除外できるわけではないのですが、症状と発症部位のみから足カンジダ症の可能性が高いというのは言い過ぎと考えられます。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 ですが

「深在性」という字面からは、つい「皮膚の深部」を連想してしまうかもしれませんが、しかし、深在性真菌症とは、肺、肝臓といった臓器に真菌が感染していることを

示しています。従って、深在性真菌症に対しては外用薬では効果は見られません。
よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4,5 は、正しい記述です。

以上より、問297 の正解は 2,3 です。